

# FC Ryukyu Coin に関する定期情報開示

琉球フットボールクラブ株式会社の財務情報は2024年7月31日時点、その他の情報は2024年10月31日時点の情報を開示しております。

項目	内容
(1) 発行者の情報	
イ) 発行者の名称、所在地 及び 登録番号	発行者の名称 : 琉球フットボールクラブ株式会社 所在地 : 沖縄県沖縄市安慶田5丁目1番16号 会社法人等番号 : 4360001017029
ロ) 発行者の沿革	琉球フットボールクラブ株式会社の運営するプロサッカークラブ FC 琉球は、2003年に沖縄県初のJリーグ参入を目指すサッカークラブとして発足し、2006年に沖縄県のクラブとしては初の全国リーグ(JFL)に昇格し、2014年に日本プロサッカーリーグ(J3リーグ)に加盟。攻撃的でエキサイティングな「琉球スタイル」のサッカーを確立し、2018年には、J3リーグ史上最速での優勝を実現し、J2リーグ昇格を果たしました。2022年にJ3リーグ降格となりましたが、まずは早期のJ2リーグ復帰を目指し、沖縄初のJ1リーグ昇格に向けて様々な活動を展開しています。
ハ) 発行者及びその関係会社が営む主な事業の概要	琉球フットボールクラブ株式会社は、プロサッカークラブ FC 琉球の運営や沖縄県内でのサッカー競技の普及、選手育成活動、また各種地域貢献活動等の企画・運営を行っています。
ニ) 発行者の役員の名氏及び経歴	代表取締役会長 倉林 啓士郎 東京大学卒業。在学中に株式会社 DeNA にてモバイル新規事業を担当。事業立ち上げの経験を生かし大学4年時に起業、スポーツブランド事業を手掛ける株式会社イミオを設立。 2016年に琉球フットボールクラブ株式会社の代表取締役社長に就任、2020年に同代表取締役会長に就任、2022年4月から代表取締役会長兼社長。2024年4月に社長を退任し代表取締役会長。  代表取締役社長 柳澤 大輔 慶應義塾大学卒業。ソニー・ミュージックエンターテイメントを経て、1998年に面白法人カヤックを設立。鎌倉に本社を構え、鎌倉からオリジナリティのあるコンテンツをWeb サイト、スマートフォンアプリ、ソーシャルゲーム市場に発信する。同社は2014年に東証マ

ザーズ上場。2024年3月、琉球フットボールクラブ株式会社の取締役役に、翌4月に代表取締役社長に就任。

取締役 廣崎 圭

早稲田大学卒業。卒業後はエリース東京でプレーし、2001年にSC鳥取(現：ガイナレ鳥取)へ移籍。2005年に現役を引退して、SC鳥取で実行委員代理や強化部長を歴任。2008年から日本サッカー協会(JFA)のマッチコミッショナーを2014年からJリーグでマッチコミッショナーを務め、2018年にJリーグマッチコミッショナー委員に就任。2018年12月、琉球フットボールクラブ株式会社の取締役に就任。

取締役 宮瀬 忍

大学卒業後、インターネットベンチャーを経て株式会社カヤックへ入社。カヤック入社後は主に地方創生関連事業で自治体案件等を担当。2024年3月に琉球フットボールクラブ株式会社の取締役に就任。

執行役員 竹原 稔

1996年に株式会社ナチュラルライフを設立し「らいふ薬局」チェーンを展開。2010年からサガン鳥栖の運営会社である株式会社サガン・ドリームスの社長を務める。2021年に退任。2023年にFC琉球のスポーツダイレクターに就任。2024年からは琉球フットボールクラブ株式会社の営業部長を兼任。同年3月に同社の執行役員に就任。

執行役員 荻原 直樹

神戸大学卒業。株式会社アスクプランニングセンターを経て2003年に東京建物株式会社へ入社。オフィスビルのプロパティマネジメント、テナントリーシング、リゾートホテル開発運営事業等に従事。2020年4月に琉球フットボールクラブ株式会社へ入社、経営企画全般の業務に従事。2022年4月に同社の執行役員に就任。

執行役員 川崎 龍吾

早稲田大学卒業。LINE株式会社を経て、2023年に琉球フットボールクラブ株式会社へ入社、マーケティング全般の業務に従事。2023年4月に同社の執行役員に就任。

	<p>執行役員 綿引 啓太</p> <p>大学を卒業後、新卒で株式会社カヤックに入社。広告制作のディレクターやゲームプロデューサーを歴任。2024年3月、琉球フットボールクラブ株式会社の執行役員に就任。</p>
ホ) 発行者の業績の概要	<p>琉球フットボールクラブ株式会社の2025年1月期における2024年2月1日から2024年7月31日までの累計売上高は270,878千円、経常利益は▲235,194千円、当期純利益は▲237,005千円となりました。</p> <p>※累計実績は、琉球フットボールクラブ株式会社が運営するサッカークラブFC琉球の事業活動及びトークンの販売による実績を含みます。</p>
ヘ) 発行者の財務の状況	<p>琉球フットボールクラブ株式会社の財務の状況は以下の通りです。IEOの会計処理については、今後の会計基準公表などの動向によっては遡及的に修正される可能性があります。</p> <p>2025年1月期における2024年2月1日～2024年7月31日累計実績</p> <p><b>【資産の部】</b></p> <p>流動資産 : 504,795 (千円)</p> <p>固定資産 : 10,124 (千円)</p> <p>資産合計 : 514,919 (千円)</p> <p><b>【負債の部】</b></p> <p>流動負債 : 182,618 (千円)</p> <p>固定負債 : 93,711 (千円)</p> <p>負債合計 : 276,329 (千円)</p> <p><b>【純資産の部】</b></p> <p>資本金(資本準備金含む) : 500,650 (千円)</p> <p>利益剰余金 : ▲262,060 (千円)</p> <p>負債純資産合計 : 514,919 (千円)</p> <p><b>【損益計算書】</b></p> <p>売上高 : 270,878 (千円)</p> <p>経常利益 : ▲235,194 (千円)</p> <p>当期純利益 : ▲237,005 (千円)</p> <p>※2022年7月末時点ではIEOの募集金額を計画期間の5期で按分して収益計上おりましたが、2023年1月期での一括計上へと変更となりました。</p>
ト) 発行者の社員数、組織及び機関	<p>[2024年10月31日時点]</p> <p>社員数 : 19名</p>

	組織及び機関：取締役会を設置。組織としては経営企画室、業務管理部、営業部、マーケティング部、強化・育成部で構成されています。
チ)発行者の株式の状況	[2024年10月31日時点] 発行済株式総数：10,720株 筆頭株主：株式会社カヤック 保有株式数：2,945株(保有比率27.47%)
リ)発行者のコーポレート・ガバナンスの状況	取締役会設置会社として、定期的に取り締役会を開催しております。また、監査役を設置し取締役の職務執行も対象とした監査役監査を実施しております。
(2)新規暗号資産の発行及び販売等の状況(追加発行等の状況を含む。)	琉球フットボールクラブ株式会社は、2022年5月18日付でIEO(Initial Exchange Offering)における新規発行トークンの販売を行いました。販売の概要は以下のとおりです。 新規暗号資産の名称：FC Ryukyu Coin (FCR) 新規暗号資産の総発行量：1,000,000,000 FCR 新規暗号資産の販売総量：450,000,000 FCR 新規暗号資産の販売価格：2.2円/FCR 新規暗号資産の販売総額：990,000,000円
(3)発行者及びその関連当事者が保有する新規暗号資産の総量及びその内訳	琉球フットボールクラブ株式会社は、460,806,706FCRを保有しています。当社の保有数量は、13,167,404FCR減少しております。 当社で保有しているFCRコインの一部については、アドバイザーへの配布やキャンペーン送付に使用しています。また、シーズンパスやクーポン売上により増加した分の一部については取引所にて市場へ売却しております。

<p>(4) 新規暗号資産の 市場価格の推移</p>	<p>FCR の市場価格の推移は以下のとおりです（2024 年 10 月 31 日時点）。</p>  <p>参照：<a href="https://coin.z.com/jp/corp/information/fcr-market/">https://coin.z.com/jp/corp/information/fcr-market/</a></p>
<p>(5) 対象事業の進捗 の状況</p>	<p>琉球フットボールクラブ株式会社は、FCR コイン保有者のプラットフォーム「FC RYUKYU SOCIO」を通じた FCR コインの用途開発・事業化を進めており、2024 年 10 月 31 日時点で、以下のサービスに関する発表がなされております。</p> <p>① トークンパートナー</p> <p>一定数のコイン保持者をトークンパートナーとして、コイン進呈、FC RYUKYU SOCIO サイト・スタジアムバナーへのロゴ/氏名の掲載、ホームゲームへの招待、限定グッズの進呈等のギフトを付与する制度を企画。トークンパートナーに FCR コインを保持いただくことで、クラブに長期的なご支援をいただいております。</p> <p>第四回目の判定期間は、2024 年 9 月 14 日に終了しました。第四回判定期間では合計 52 名の方をトークンパートナーに認定しました。</p> <p><a href="https://fcr-socio.com/lp/partner/3">https://fcr-socio.com/lp/partner/3</a></p> <p>② コイン送付機能(応援機能)</p> <p>「FC RYUKYU SOCIO」を通じて、FCR コインを選手・クラブに送付する機能をリリースしております。ファン・サポーターと選手・クラブが、直接かつ双方向に応援や感謝を伝えることができ、両者の繋がりをより密なものとするビジョンを実現していきます。</p>

2024年1月より今シーズンの所属選手へのコイン送付機能を再開。10月末時点で413回の応援を頂いております。

<https://fcr-socio.com/support>

### ③投票機能

「FC RYUKYU SOCIO」上で、コイン保持者がクラブからの提案に対して投票する機能をリリースしております。一人ひとりが、クラブ運営に関して自らの意思を伝えることができ、透明性のあるサッカークラブ運営のモデルケースを目指します。

2024シーズン開幕以降も毎試合の「マン・オブ・ザ・マッチ」を決める投票のほか、ポスター掲載選手の選抜投票、選手キャッチコピーの募集投票、スペシャル前座マッチのユニフォーム投票などバラエティに富んだ内容を企画しております。

<https://fcr-socio.com/vote/past>

### ④決済手段としての利用

FCR コインで公式オンラインショップ及びホームゲーム出店店舗で使用できるクーポン、シーズンパス、ハーフシーズンパスなどを購入できる機能を提供しております。(※2024年10月31日時点では販売中のアイテムはございません)

<https://fcr-socio.com/shopping>

### ⑤選手に対する報酬としての利用

試合中で最も活躍した選手に与えられるマン・オブ・ザ・マッチの報酬として、100,000FCR コインが支払われることになっております。これらの施策により、FCR コインに対する選手の関心を高め、普及活動への積極的な参加を促します。

IEOにより調達した資金の用途は以下のとおりです。2025年1月期の年間計画値（5ヵ年計画を均等分割）総額に対して、2024年10月31日までの支出額を記載しております。

(6)調達資金の全部 又は一部を使用した 場合には、使用した 資金の額等及び使途 の内容	資金使途	年間計画 (千円)	支出額 (2024年10月 31日まで) (千円)	資金使途の内容等
	FC琉球のクラブ運営・強化費・育成費	79,200	5,559	J1昇格を目指すFC琉球のクラブ運営、強化(選手獲得)、アカデミー育成強化(FC琉球高等学院の奨学金制度の充実など)に活用されます。
	FC RYUKYU SOCIOのシステム開発・運用・マーケティング費	79,200	9,296	FCRを活用したFC RYUKYU SOCIOアプリケーションの初期及び追加開発・運用・マーケティングによるユーザーの拡大、FCRを利用する新規加盟店やコンテンツ獲得などエコシステムの拡大に使用されます。
	FCRコイン発行・運用費用※	3,960	285	FCRの発行・安定運用において必要となる暗号資産交換業者への発行手数料や法務・会計周り費用に使用されます。
	予備費用	15,840	0	
	合計	178,200	15,140	

(7)対象事業の事業 計画の変更	直近の決算状況等を踏まえ、2025年1月期の事業計画を以下のとおり変更しております。 (単位:千円)			
		2023年1月期(実績) 2024年1月期(実績) 2025年1月期(計画)		
	売上	1,598,829	512,361	627,776
	売上原価	24,214	46,263	41,520
	売上総利益	1,582,573	474,450	586,256
	販管費	994,862	866,289	805,149
	営業利益	587,710	▲391,839	▲218,893
	経常利益	586,246	▲385,941	▲220,093
	当期純利益	585,796	▲386,391	▲220,543